

志木小学校だより

平成30年度10月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

10/1児童数 718名

相手を意識することが大切！

校長 坂口 栄 二



↑校歌の碑

開校百年記念碑→

運動会

降り出した雨に不安を覚えながらスタートした運動会。途中から真っ青な青空にもなり、皆様のご協力の下、9月22日（土）に盛大に運動会を開催することができました。1年生にとっては小学校生活初めての、また、6年生にとっては小学校生活最後の運動会でした。その他の学年の児童たちも含めて、一生懸命練習した成果をしっかりと発揮できたと思います。特にダンスや表現については、来てくださった方々に素晴らしい演技を見ていただくことのできる子供たちも練習を頑張っていました。これも、応援はもちろん、準備から片付け、体調管理などにご協力いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。

ハイタッチあいさつ運動

毎朝、正門において子供たちとあいさつをしています。この2学期よりハイタッチを取り入れています。たくさんの子が同時に登校してきたときには全員とハイタッチはできませんので、もちろん強制ではなくやりたい子としています。始めた理由は、心のこもったあいさつができる子供をもっと増やしたいと考えたからです。昨年度の4月よりあいさつができる子は増えていましたが、視線が合わないなど、私を意識していない子供も多いと感じていました。ハイタッチをすることによって自分を意識してもらい、より心がこもったあいさつができると考えています。



毎朝、子供たちは様々なハイタッチをしてくれます。強くタッチする子、指先のみでタッチする子、グーでする子、遠くから寄ってきてする子……。一人一人の個性を感じます。もちろん近くを通れずハイタッチできなくても大きな声で私を見て元気にあいさつしてくれる子もいます。その子たちに共通していることは、私を意識してとてもいい笑顔を見せてくれることです。充実した一日を過ごすのだらうと思います。

逆に、差し出している手をあからさまに避ける子や私に気づかない(?)子もいます。もちろんあいさつはしてくれませんが、あまり気持ちのよいものではありません。社会に出てから人間関係をうまく築けるか心配になってしまいます。遠くでタッチできなくても相手を意識して、元気にあいさつができる子になってほしいと思います。

いのちを学ぶ授業

志木小学校では、毎年、いろは遊学館・いろは遊学図書館と連携して「いのちを学ぶ授業」を実施しています。様々な人のお話を聴き、「いのち」の大切さについて学びます。

たとえば、「自分のいのちは自分だけのものではない。」また、「自分以外のいのちもかけがえのないものだ」ということなどを学びます。

今年度も下の枠線に書かれている通りに授業を実施いたします。お時間がある方は参観も可能ですのでお越しください。(座席の用意はありません)

いろは遊学館学社融合プログラム「いのちを学ぶ」授業

「ぼくらはみんな生きている！」—そして君のとなりにきらめく命—

日時：10月10日（水） 9：40～10：25（低学年の部）

10：50～11：35（高学年の部）

場所：志木小学校体育館

講師：しあわせ動物写真家 福田 幸広 様



相手を意識することが大切

「運動会で家族に自分の成長を見せたい・地域の人たちに楽しんでもらいたい」「あいさつでいい関係を築きたい」「自分のいのち・他のいのちを大切にしたい」等、独りよがりにならず、相手を意識することで自分のとるべき行動がはっきりします。そして、社会生活をしっかり営むことができます。子供たちに、相手を意識する心を育てるために、保護者・地域の方々のご支援・ご協力をお願いします。